

# かがやき ニュース

## 「北小松」から「晴の家」へ —地域の人の協力で更に一歩



「一人ぼっちにならない・しない」をモットーに掲げてきた支援が実を結び、今後は地域にもなくてはならない存在になれることを願いながら建てられた「晴の家」が4月1日に里山辺の下金井に開所しました。

内覧会の時にはご近所の方々が20人以上訪れて「自分達の活動を晴の家で、披露したいがいいでしょうか？」との声も聞かれ、地域の人々と一緒に育てていかれそうな、うれしい予感がしています。

### 本部・北信地域センター

長野県長野市南長池 761-3  
(本部) TEL 026-263-2386  
(北信) TEL 026-217-3601

### 中信地域センター

松本市本庄 2-3-18  
TEL 0263-31-8200

### 東信地域センター

佐久市下越 612-1  
TEL 0267-78-5070

### 南信地域センター

飯田市知久町 4丁目 1203-2  
高田ビル 2階  
TEL 0265-23-1109



# 言いたい

—高齢者が長生きして良  
かったと思える地域社会  
をみんなの手で—

高齢者が人らしく生きていくう  
えで重要な役割をもつ社会保障制  
度がまたまた後退し、これから新  
たな医療「改革」、介護保険「改正」  
が実施されようとしています。

社会保障の歴史を概観しつつ  
高齢協としての立場を表明した  
いと考えます。

—社会保障の生いたちと  
今日に至る経過—

わが国の社会保障は第二次大  
戦による焦土のなから、その反  
省のうえに立ち、生存権を基本  
理念として出発し、多くの先人  
達の努力により発展してきました  
た。「全ての人々の健康で文化的  
な生活ないし、人間の尊厳に値  
する生活を国および自治体の責  
任において権利として保障する」  
(憲法25条)もので、「生涯のうち  
に遭遇する可能性のあるさまざま  
まな生活上の危機や困難を回避、  
軽減するためのしくみ」として  
年金、医療、福祉・介護などの  
諸制度を整備してきました。

ところが高度経済成長が終焉す  
る1970年代から財源不足を理  
由に政・財界から見直しが迫られ、  
1980年代には「高齢社会危機」論  
「福祉見直し」論が政府により喧伝さ  
れるようになりました。そして第2  
次臨調答申では「自己責任」論が強  
調されました。

1990年代には社会保障制度審  
議会社会保障将来像委員会による  
「90年勧告」で、社会保障を「みんな  
のために、みんなで作くり、みんな  
支えていくもの」とし、多くの人々、  
とりわけ勤労国民の粘り強い闘いに  
よって積み上げてきた社会保障の理念  
を大きく転換させてしまいました。

そして現在政府は「社会保障制度  
改革国民会議」を発足させ、国民の負  
担のあり方を検討、更に社会保障と税  
の一体改革の名のもとに消費税増税を  
4月1日から実施しました。そして安  
倍首相が「消費税の増収分は全て社会  
保障に使う」と言っていたことが国民  
への欺瞞であることが明白となりまし  
た。増収分5兆円のうちの5千億円(1  
割)しか実質的には使われません。

—介護保険の縮小と変容—

現在予定されている介護保険の「改  
正」案は、①要支援1、2は介護保険

から外し、自治体の事業に移す、②特  
養利用者は要介護3以上に限定、③  
一定以上の所得者は利用料金1割を2  
割にする。そして介護も医療も在宅へ  
シフトさせる受け皿として地域包括ケ  
アを推進させることにしています。

介護保険制度は、高齢者の自立と  
尊厳ある暮らしを支えるために、家  
族に依存する介護から決別し、介護  
を社会化することを目的に導入され  
ました。制度の根幹には、市民の制  
度参加を促し、市民意識を変え、地  
域が支える高齢社会を展望してい  
たはずですが、しかし、介護を市場に委  
ねたことで制度は大きく歪み、今や  
市町村を通じた規制へとその内容を  
変えつつあります。

私たち高齢協は「高齢者が長生き  
して良かったと実感できる社会こそ  
が、誰もが暮らしやすい社会である」  
と主張してきました。この視点から  
給付の抑制や負担増には反対します。

—医療は入院制限をいっそう  
進める—

昨年12月に成立した社会保障プ  
ログラム法により「医療提供体制の  
再編」が進められようとしています。  
「機能分化」の名で病床を減らす計  
画です。厚労省は、高齢化のピー

クとされる2025年に202万床  
が必要としながら、財政難を理由  
に、43万床削減して159万床に抑  
えこむ計画です。看護師の人員配  
置が最も手厚い「7対1病床」(患  
者7人に看護師1人、36万床)は、  
各病院が競って体制をつくり収入増  
をはかったばかりなのに半減させ、  
2014年度から2年間で9万床も  
減らそうとしています。

「7対1」病床は「平均在院日数」  
が厳しくなり、「在宅復帰率」を導  
入し、患者を早く退院させて在宅  
復帰させないと病院収入が減って  
しまうため、患者追い出しが強ま  
ることになります。これまでも入  
院制限が進められてきましたが今  
後一層事態が進みます。

—情勢に負けず高齢者が元氣  
に過ごせる社会を—

社会保障が変節していく中で私  
たちは、生きがいづくり、仲間づ  
くり、仕事おこしを通して、孤立  
しがちな高齢者の暮らしを支える  
活動を今後も発展させ、あらゆる  
ところで組合員が声をあげる場づ  
くりをしていきましょう。高齢者  
の底力をいまこそ発揮しようでは  
ありませんか。(新井厚美)

# 長野県高齢者生活協同組合 第16回通常総代会公告

長野県高齢者生活協同組合  
代表理事 市川 英彦

長野県高齢者生活協同組合 定款52条、54条、55条にもとづき第16回通常総代会を開催します。

## 記

### 1. 総代会日程及び会場

日時：2014年6月21日（土）午前10時00分より  
会場：JAグリーン長野 グリーンパレス（長野市篠ノ井）

### 2. 予定議案

第一号議案 2013年度事業・活動の報告、2013年度決算報告、監査報告  
（全体総括、各地域センター）

第二号議案 剰余金処分の件

第三号議案 2014年度事業計画及び収支予算の件

第四号議案 第4次3ヶ年計画の件

第五号議案 定款の一部改訂の件

第六号議案 2014年度役員報酬決定の件

第七号議案 議案決議効力発生

以上



昨年の総代会風景



## 第16回通常総代会 総代名簿

※総代110名

北 信	片岡 茂子	加々井 賢	土屋 桂一	代田 登	関 次郎
石澤 濱二	金子 茂喜	上野 忠	橋本 満夫	高瀬 制一	鷹野 昭子
石田 敏子	五味美穂子	黒岩千恵子	福島すま子	武井満喜子	土屋たい子
伊藤 正道	小山 隆	児玉千代子	村松 博	田中 良一	羽毛田多恵子
今井 裕道	小山 小雪	瀧澤 克巳	中島 璋文	前澤 一則	宮澤 文仁
大西 洋恵	鈴木 清方	滝沢 文子	猪瀬 明司	花岡 啓子	吉田 敬子
金子 晶子	高橋 鴻志	瀧本 弘子	塚田 昌之	樋沢 春喜	米本 玲子
北村 道子	花形 春樹	武重 博明	山岸 嗣幸	降旗 好恵	浅沼しげじ
善財 法子	広田 俊子	中川 文子	松島 慶一	堀内美保子	南 信
竹内美代子	松橋 仁一	中嶋 研二	中 信	舛田あけみ	今村 洋子
田中 節子	宮川 祥子	松井 敏子	荒井 一利	甕 照子	社浦 康三
谷口 耕一	山口 光美	宮澤 初子	新井登代子	若松 典子	松田みつ子
津村 由美	吉澤まさ子	荒井 智和	大久保万里	村上さよ子	黒川 照子
樋口 宜子	石坂 京子	今井 二郎	大西 直美	東 信	三宅 弘
松橋 勝江	清水 則雄	太田 秋夫	久保みち子	井出 宗通	
丸山 律子	出河 久男	岡田 高義	小泉紀代子	尾花 隆	
峰村 正幸	轟 博子	小原 早苗	小出 松代	木内スミ子	
村田 茂	平林まさ子	加藤 辰夫	小林 幸代	工藤きみ子	
石井 孝	宮下紀美子	竹ノ内敏一	小林 雅範	工藤美智子	
江原 米子	石川 勝一	塚田 晃子	佐藤 元子	佐藤 千里	

2014年度役員改正に伴い専務理事の交替、並びに各分野ごとの強化を図るため、組織運動部と介護事業部が立ち上がりました。組合員の皆様にそれぞれ紹介と挨拶をさせていただきます。

## 組織を信じ、

### 仲間を信じて11年

前専務理事 鈴木 友子



この度、専務理事を退任いたしました。11年という長きにわたり実務の先頭に立たせていただいたことは、私にとって大きな試練と学びの場でもありました。力不足ではありましたが大過なく過ごせたことに深く感謝申し上げます。思い起こせば、赤字財政の克服、本部事務所の移転、未知の指定管理への挑戦、事業所の全県展開など、無謀・野望の連続だったのかもしれない。危ういときもあったと思いますが、不思議に私自身はひどく落ち込むことはありませんでした。それは支え合う組織であることやそこに集う方々の思いを信じていたからです。もちろん、歴代の理事

長、専務理事の皆様をはじめとする職員や組合員の皆様のご努力があったことは言うまでもありません。

4月からは副理事長、そして東信地域と北信地域のセンター長として、より地域に近いところで仕事をさせていただきます。これからも皆様と共に歩めることに感謝して退任のあいさついたします。

## ひとりひとりの

### 想いを形に

専務理事 新井 厚美



1844年にイギリスで誕生した協同組合は今年170年目を迎えます。小さな店舗から始まった協同組合が全世界に拡がり、長い間脈々と続いています。その要因は何でしょうか。

それは、組合員のみなさんひとりひとりの想いを受け止め、誠実にひとつひとつ形にしてきたからなのではないでしょうか。私たちもそんな組織でありたいと思っています。

4月1日より専務理事に就任しました。10年以上もその職を継がれた鈴木友子副理事長の後を継ぐのは荷が重いのですが、協同組

合の入協した時の初心を忘れず、皆さんと共に進みたいと思っております。どうぞ、宜しくお願い致します。

## 一段と高い峰を

### 目指して

組織運動部 小沢 房生



私たちは、事業の発展のために社会的運動と組合員活動、組織作りを一体的

に進めるといって、一段と高い峰、本来の協同組合としての目標への挑戦を致します。それは第1に高齢者の命と暮らしを守り、健康で長生きして良かったと思えるような政策要求を、諸団体との協力、協同で行うことです。

第2には組織運動の強化です。事業・運動の発展のために、組織並びに自己資本の拡大強化は不可欠の条件です。高齢協がコミュニケーションケアや地域づくりの中に位置づけられる存在となるためには、高齢者の主張等、声をあげる活動に取り組みます。

仲間増やしは、すべての事業所でたまり場づくりなどをしながら

進めます。かがやきニュースの手配り体制の拡大や協同組合間の協同も強めます。組合員の参加を切望します。

## 信頼され利用していただく

### 介護事業を目指して

介護事業推進部 内田 信幸



2014年度、高齢者生協では「介護事業推進部」を立ち上げました。

今後、社会情勢や社会保障制度がめまぐるしく変化する中で、組合員の方や地域の方たちにより良い介護サービスを提供するためには、全事業所が健全な経営をして、皆様に信頼され利用していただく事業所を目指し、そこで働く介護職員は質の高いプロの専門職になる必要があります。介護職員のやりがいがある職場づくりも必要です。そのために「介護事業推進部」が全事業所を支援しながら、それらのことを実現していくために動きたいと考えています。また皆様の要望を叶えるための事業への取り組みも検討していきます。これからの高齢者生協の介護事業にご期待下さい。

# 宅老所「北小松」の思いは「晴の家」はるに引き継がれ…

中信のかがやきデイが北小松から下金井に移転になりました。場所は松本民芸館西側の道路を150m南の位置に右手を見て

ください。芽吹きをイメージした緑の屋根と暖かい春風を意識した黄色の外壁であり全てに春そのものを感じられる建物があります。広い駐車場と利用者が花などを作る小さな畑があることにより陽が燦燦と降り注いでいます。

生前、宅老所かがやき北小松を利用して下さっていた晴子様のご家族から、お母さんが生前北小松を大変気に入ってくださった事と、形になる社会貢献（地域貢献）を行って母の志に報いたいとのご家族の思いがありました。そして丁度北小松の移転を高齢協会で検討中である事が重な



り両者の思いが「晴の家」として形になりました。

晴子さんの晴を一字いただいた「晴の家」は四季を通じて気持ちの良い晴天の日のような雰囲気をつくりだし、毎日通いたくなるような家を想像しながら、建物内部にも最大限の配慮がなされています。利用者にも地域にもなくてはならない存在になることを願い、その思いをかがやきに託されました。

手づくりの食事に、ゆったりと個別の入浴、皆さんに安心して利用していただき、「晴の家」は楽しく、皆で食べる食事もおいしいね。教わった運動を家でもやってみよう」と利用者からの声。一人一人に寄り添った心温まる丁寧なケアを行って、利用者としてスタッフみんなで作る「家」をめざし、人や物を大切にできた宅老所かがやき北小松の精神を忘れずに引き継ぎ、地域により所となるように取り組んでいきます。

（小島千代子・大久保萬里）

## 輝き キラキラ

### かがやきデイサービスにお越しください

かがやきデイサービス南長池です。ニュースに初登場なので、先ずは紙上見学会にどうぞ。

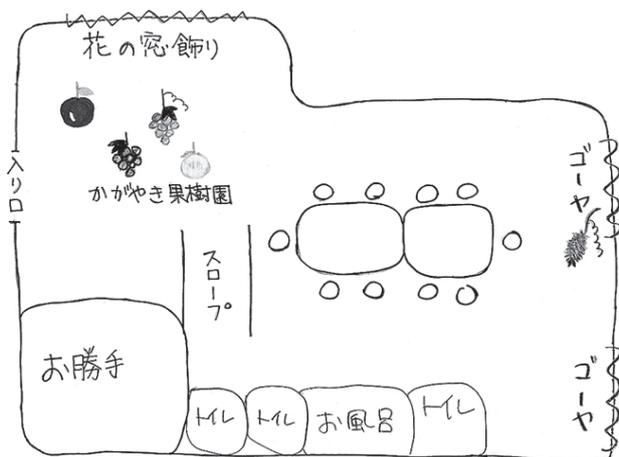
玄関を入ると左手の大きな窓には 利用者さんと一緒に作った季節の花々が咲き誇る窓飾り。天井には長野市特産の巨峰やリンゴが鈴なりです。平行棒を使って機能訓練に励んでおられる方がいますね。スロープを登ると右側は厨房で利用者さんに合わせた昼食の準備をしています。おやつも此処で手作りしているんですよ。左に曲がると

きます。自宅に持ち帰り料理して「美味しかったよ！」とおっしゃる方もいます。

これがかがやきデイサービス南長池の日々の光景です。でも実物を一度見に来られませんか？いつでも大歓迎です。

（津村由美）

広々としたダイニングが。「お風呂に行きましょうか」と声を掛けられ 嬉しそうに席を立って行かれましたよ。そのお隣では脳トレですか？うーむ、難しそう。大きなTVがあり、たまには高校野球やオリンピックを観戦し盛り上がりします。奥に行くくと、ベッドで休んでおられる方がいます。昨夜夜更かししたかな？夏はその窓辺にはゴーヤが次々と花を咲かせ毎日収穫で



# 組合員活動 (2013年4月～2014年3月)



## 南信地域センター

○みんなの家下條見学・茶和会 10月

(講座修了生対象)

○みんなの家下條お楽しみ企画 11月

○一般住民向けの企画を実施。

月:おやつ作りと小物づくり 火:懐かしの歌とおしゃべり 金:男性企画(将棋、麻雀など)

○みんなの家下條お楽しみ企画 12月～3月

延参加者数 77名



お楽しみ企画でおまんじゅう作り

## 東信地域センター

○脳イキキ楽習塾 毎月第3火

毎回60～80才代と幅広い年代の方が20～25人参加され、認知症の理解、映画「シッコ」とTPPの学習、エンディングノートについての講座のほかハンドベルや詩吟、音読みなどをする。新たな出会い、仲間づくりになっている。

○組合員ふれ合い会 隔月開催

組合員懇談会から楽しく集まれる会にしようとふれ合い会に。カゴ編み、そば打ち、新年会、ヒナ人形展のメンバー約30人くらいの参加で好評。事業の報告や仲間ふやし、増資などについても話し合い、会員の絆も深まった。

○気功教室 毎月第2第4水

毎回午前中に実施。静かながらツボをおさえた動作などで高齢者や病後の方も参加できるのが特徴。「臼田健康と福祉のつどい」(2014、2、11)で「気功体操」を発表し、好評だったことにより仲間が2人増えた。

○ハモリゃんせ 毎月第2第4水

季節に合わせた曲や新しい曲をうまく入れながら練習。「花は咲く」などが歌えるように。ふだん使わないのどの機能の維持に役立っている。

○「あの夏を語る」平和と戦争展 毎年8月

退職教職員の会などと合同で開催。2度と戦争をくり返すまいと戦争体験者のお話をきいたり、遺留品や記念写真、戦争絵画の展示など行った。「平和千人針」は恒例になっている。

○地域センター祭り 10月

近くの保育園児の絵画や鼓笛隊も加わり、若い父母の参加もあり約200人にも。初めてのバザーも成果は上々。地域のミニ文化祭のようになっていければうれしい。

○協同畑で生活困難者支援活動 毎年春～秋

玉ねぎやジャガイモを作り、高崎や新宿などの支援組織に送っている。地域に訴えたところ米や野菜を届けてくれる協力者もでて、高齢協が集積地になりつつある。

○ヒナ人形手遊び展 毎年2～3月

今年も2会場で開催。2月は例年の「さんぼやの四季」で5日間、3月は「四季のベンチ」で5日間。大雪や寒さの影響で今年は来場者は少なかった。



気功教室の皆さん

# 🍀こんなに広がりました

## 中信地域センター



元気づくり事業シンポジウム風景

- 「芽ぶきの会」バスハイク 6月  
41名で長野水野美術館で開催の「石井美千子人形展見学」、メルパルクでランチバイキング、善光寺参拝を行った。
- 里山辺地区夏祭り参加 7月
- 第三地区夏祭り参加 8月
- 里山辺地区文化祭参加 11月
- 第二地区文化祭参加 11月  
いずれも焼き鳥の出店をし、好評完売だった。
- 県元気づくり事業「いきいき・元気づくり講座」 8月～3月  
毎月1回計8回芽ぶきの会が開催。(健康講座、調理実習など。)
- 元気づくり事業「シンポジウム～認知症の人を地域で支えるために」 3月  
芽ぶきの会が開催し市川理事長の基調講演、3名の発表者でシンポジウム。51名参加
- 中信地域総代会 9月  
長野高齢協の総代会をうけミニ学習会、中信地域センターの事業・活動の周知徹底をはかった。
- 中信地域組合員懇談会 11月  
市内東部地域(里山辺地区中心)で開催。  
食事会や居場所づくりなどの要望が出された。

## 北信地域センター



食べ歩きの会の会食風景

- わくわくファッション倶楽部 不定期  
着物をリメイクして、ファッションショーをする会。イベント参加、交流会など
- コカリナを楽しむ会 毎月2回  
コカリナの練習及び交流
- お花見会 春秋年2回  
春の花、秋の紅葉を楽しむ会。1人ではなかなかでかけられない人が多く参加できるようにしている。
- 食べ歩きの会 不定期(年4回)  
おいしいものを食べようをモットーに、場所、食材(地産地消)にこだわり、昼食をする。
- 信州郷土食の会 不定期  
郷土食を扱っている道の駅などを選び会食会をする。
- ハンドベルの会 不定期
- ながの団友倶楽部 不定期

### 組合員倶楽部募集

あなたも倶楽部を作りませんか？

倶楽部を作ると・・・

- ① 倶楽部活動を行うための活動支援費を半期に3,000円支給します。(会計報告必要)
- ② 活動に使用する資料の印刷が無料でできます。(紙代は実費負担)
- ③ 高齢協の施設(公共サービス事業所を除く)が無料で活動に使用できます。(但し冷暖房費100円/時間がかかります。)
- ④ 仲間募集等を「かがやきニュース」に掲載することができます。

倶楽部は組合員5名以上で発足できます。倶楽部登録は年度毎行います。皆さんの楽しい活動を応援します。

# 組合員生活実態アンケート

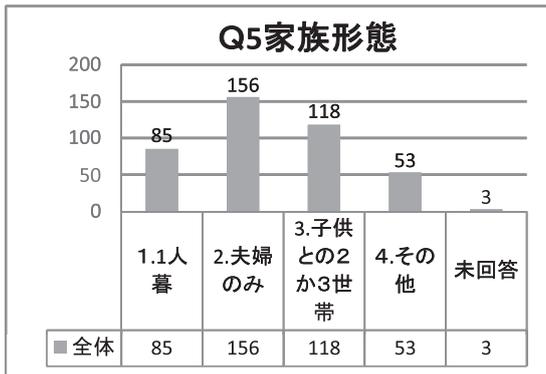
(2013年11~12月)の結果報告

アンケート配布数 2804 枚の内、回答頂いたのは 415 枚。回収率は 15%でした。

多くの方のご協力、ありがとうございました。

頂いた貴重なご意見は、今後の高齢協の事業や活動に生かして行きます。今回は一部ですが、皆様のご意見を紹介したいと思います。

	配布	回収	回収率
東信	380	108	28%
北信	1,707	229	13%
中信	586	66	11%
南信	131	12	9%
計	2,804	415	15%



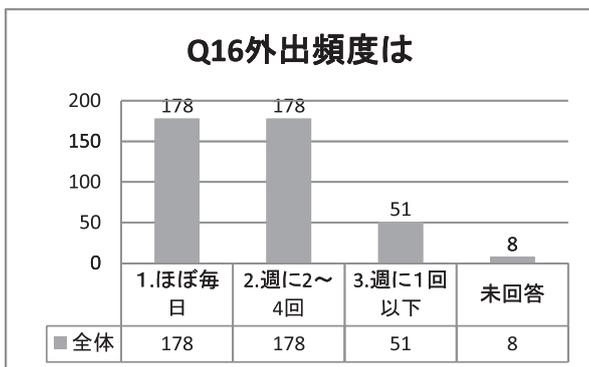
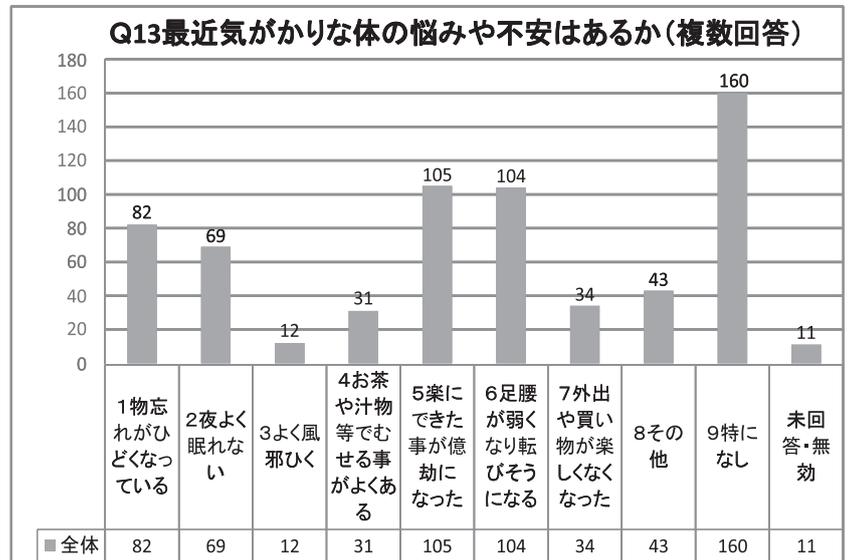
○独居の方や夫婦2人の世帯が増えていると言われていますが、私たち高齢者生協でも同様の結果です。

○1人暮らしの方と夫婦2人の方は全体の59%。約6割に上ります。

○最近気がかりな体の悩みや不安は  
・今まで楽に出来ていた事が億劫になった (105)

・足腰が弱くなり転びそうになる (104)  
・物忘れがひどくなっている (82)  
・夜よく眠れない (69) など

○健康体操や脳イキイキなどの取組みを各地で

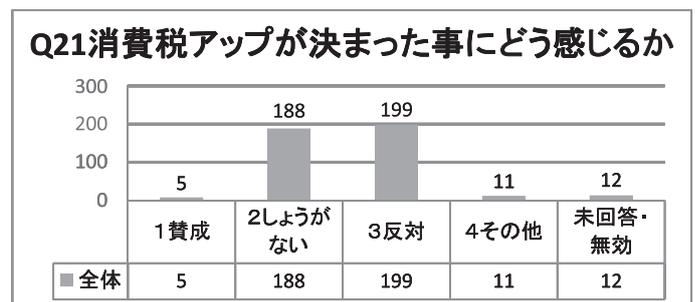


○外出はしていますか。  
高齢協の組合員さんは活動的です

・ほぼ毎日の方が 44%  
・週に2~4回の方が 44%  
○8割以上の方が活動的です。



○消費税アップに対する意見は  
賛成としょうがないを合わせると 48%  
反対は 49%  
○拮抗しています。



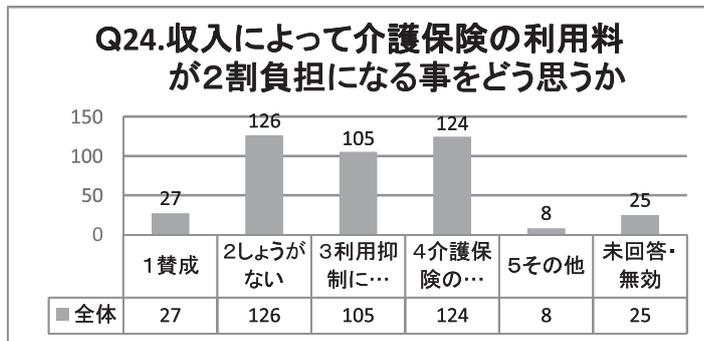
○収入によって介護保険の利用料 2 割負担になる事は

- 介護保険の趣旨に反する (124)
- 利用抑制につながるから反対 (105)
- しょうがない (153)
- 賛成 (27)

○私たちが自分の意見をしっかり持つこと

なくして社会は良くなりません。

○高齢者が長生きして良かったと思える社会こそが誰もが暮らしやすい社会であるはず  
です。



## 最近、ニュース報道のインタビューでも「しょうがない」という言葉を良く耳にします。私たち高齢者は物わがりの良い人ばかりでいいのでしょうか

Q 社会保障の中で関心の高いのは

・年金	(303)
・医療制度	(270)
・高齢者福祉	(241)
・介護保険	(217)

○最近の暮らしの不安や困りごとは  
圧倒的に介護が必要になった時が心配

## アンケートに書いて頂いた組合員さんの生の声をお届けします。

(出されたご意見の一部を掲載します。)

<b>介護・医療保険</b>	<p>○介護保険は今まで通り、要支援者を外さないでほしい。</p> <p>○収入が低くても入所待ちの期間が短く、直ぐに入所できる特別養護老人施設の増設を、ぜひお願いします。</p> <p>○高い介護保険料を払っていながら利用できない人が居る事に納得できない。更にはもっと利用できない制度を作ろうとしている。何の為に介護保険料を徴収しているのか。</p> <p>○私は耳が聞こえません。出かけるようになって耳の不自由さが出る場面が増えました。医療費の立て替え払いが半年になり、お金が戻ってくるまで本当に苦しい生活をした時期がありました。この半年をもっと短くできないでしょうか。たとえば窓口で身体障がい者の場合は定額制にならないでしょうか。不正をする人が居るからと聞いたことがあります。正直に生きている人がほとんどです。</p>
<b>年金</b>	<p>○低年金受給者への支援をお願いします。70歳以上の方々は長い間働き、国に税金を納めてきた人達が多いはず。長生きして良かったと思える国にしてほしい。高齢者に対する思いやりの気持ちがなくなりつつあるように思う。</p> <p>○これから益々高齢者が増加します。いろいろ大変とは思いますが、最低限生活できる保障はしてほしい。</p>
<b>福祉</b>	<p>○低所得者をいじめないでほしい。軍事費にかけているお金を福祉にまわしてほしい。</p> <p>○高齢者人口増加が明らかなのに、福祉に携わる人々の労働環境、賃金が悪すぎる。役人は我が身に置き換えて、ぜひ改革してほしい。</p>
<b>地域社会</b>	<p>○東北の復興が進んでいない。今、日本がやらなくてはならない事は、憲法改正や特定機密保護法の制定ではなく、東北の復興である。無駄な公共事業や東京オリンピックを返上してでも東北復興に全力を傾けてほしい。</p> <p>○高齢者が蓄積してきた知恵や力を生かす場がない。農業や職人の技術等、優れた「技」を伝える術も後継者がいなくて途絶えてしまうとの話も聞く。高齢者が生き生きと社会活動に、また経済活動にも参加できる場を作ってほしい。長寿を自他共に喜べる社会であってほしい。</p>
<b>社会保障全体</b>	<p>○経済大国にならなくても、貧しくても国民が納得できる生活が保障されることを願う。</p> <p>○消費税増税が決まった今、今までの社会保障費に増税分がプラスされなければ意味がない。今までの費用を減らすような意味がない。そこをしっかりと確認したい。</p> <p>○国民の血税の無駄遣いを止め、国民に対する行政をしてほしい。世界に誇れる国民皆保険制度を大切に守ってほしい。富める者と貧する者との格差をなくして、この国に生まれて良かったと思える行政をして下さい。</p>

# 前号のクロスワード正解「ショウヒゼイ」でした。

正解者：10名 当選者（3名）：関次郎さん、高橋鴻志さん、松本隆雄さん  
おめでとうございます。クオカード500円と万座温泉入浴券1枚をお送りします。

1	2		3	4		5
6			7		8	
	9	10		11		
12		13				14
15	16			17	18	
19			20		21	
		22				

## 〈前号の答え合わせ〉

1	オ	オ	2	ミ	3	ソ	4	カ		5	コ	
	シ		6	ラ		ン		チ	ヨ		ウ	
7	バ	8	タ	ー				ヨ			キ	
			ン			9	ス	ウ	10	ジ		
11	イ		ス	12	ト		リ		13	ヒ	14	ジ
	ロ			15	シ		バ	16	イ			ゲ
17	ハ		ル			18	チ	ク		ゼ		ン

### 〈タテのカギ〉

- ①落語などで、結びのしゃれ
- ②信頼を裏切られて悔しい思いをさせられる。〇〇〇を飲まされる
- ③横綱になること。〇〇を張る
- ④端午の節句に立てる
- ⑤むかしの国名、今の愛媛県
- ⑧中国の史書。前漢の司馬遷の著
- ⑩もういいかい、まあだだよと遊びます
- ⑫音楽で習うハーモニカとこれ
- ⑭英語で「さじ」のこと
- ⑯「青丹よし」は〇〇のまくらことば
- ⑰「荒城の〇〇」は滝廉太郎の作曲
- ⑲ダークブルー

### 〈ヨコのカギ〉

- ①つかまらないように逃げる遊び
- ⑥〇〇者一人、愚者万人
- ⑦内々にすること、秘密
- ⑨体操競技の種目の1つ、〇〇運動
- ⑪家が立ち並ぶさま、〇〇を並べる
- ⑬中国も〇〇〇建造、軍拡まっしぐら
- ⑮熟練する、〇〇〇た仕事ぶり
- ⑰〇〇〇サービスは口先だけのお世辞
- ⑲公園や校庭にある、こいで遊ぶ遊具
- ⑳鍵、解決の手掛かり
- ㉒強い圧力を加えた気体を入れておく鋼鉄製の円筒の入れ物。ガス〇〇〇

### 応募方法

・ヒントから□に文字を入れて、A～Fまでのアルファベットを順番に並べ替えて、言葉を完成させてください。応募いただいた正解者の中から抽選で3名の方にクオカード500円と万座温泉日進館の無料入浴券1枚をプレゼントします。  
☆答え、氏名、住所、日常の出来事やニュースのご意見・感想などを記入して、郵便、FAX又はメールにてご応募ください。お待ちしております。  
宛先：〒381-0024 長野県長野市南長池761-3 長野県高齢者生活協同組合「クロスワード」係  
FAX:026-263-2385 メール:info@nagano-kourei-kyo.jp 締切日:6月13日(金)必着

## 第6回理事会報告 (2014年3月22日)

○2014年度の活動方針・予算案を決定しました。

- ・「ひとりぼっちにならないしない」の実現の為、各地でたまり場・寄り場作りを進めます。
- ・介護保険事業を強化する為に事業推進部を設置し、運営体制の強化、ケアの質向上、人材育成、内部監査の確立等を行います。
- ・人材育成の仕組作りと学習・教育を強化します。
- ・事業高は7億290万を目指します。

○2013年度2月の財務状況を確認しました。

2月までの事業高は 高齢者生協 4億3294万、  
ワーカーズかがやき 1億2928万

- 機関紙編集の進め方を確認しました。
- 賃金規程、役員報酬規程の見直し、安全衛生委員会規程を策定しました。
- 第16回通常総代会を6月21日(土)、JAグリーンながのグリーンパレスで行う事を決定しました。

## 読者からの投稿

読者の皆さんからの投稿を一部ご紹介いたします。  
沢山の投稿ありがとうございます。

○便りー組合員で毎週老人いこいの家の利用者です。北信Bブロックでお花見や紅葉狩りを楽しんでいきます。今年も大いに盛り上げます。

感想ー世の中が増税・再軍備・原発逆戻りと益々おかしくなりつつあります。シニアは黙っているべきではないと思います。声を大にして叫びましょう。(Tさん)

○もう長く生きてきたので、最近自分の苦手な分野に挑戦するようになっていきます。例えば華やかなフラダンス、根気のいる編み物。一つずつ苦手意識を克服し自信を持ってれば楽しみがどんどん増えていく事間違いなしです。(Kさん)

○先日の大雪で、竹で作った塀が壊れてしまいました。丈夫なものに直すことにしましたが、お金がかかって大変です。年金暮らしって、本当にたいへんですね!! (Mさん)

○今年は南信も大雪で、いろいろ被害を受けました。でも桜の季節、

元気をだして野良仕事に精を出します。社協の宅福で、病院の送り迎え、買い物のお手伝いもしています。年よりの住み良い社会に私の望みです。(Tさん)

○米ちゃん弁当も「四季のベンチ」に移転しました。東信センターも隣ですので、チラシなどもよく見、「認知症」の学習を更にし、弁当配りに役立てたいと思います。(Sさん)

○4月からの消費税8%に向けて我が家では買いだめで主人ともめています。(Uさん)

○最近温泉巡りをしています。今回プレゼントにひかれて応募してみました。ちなみに平谷村のひまわりの湯はとても良かったです。(Hさん)

○みんなで合唱したい。高齢協でもやりませんか?楽しみです。(Yさん)

## かがやき インフォメーション

### 中信・北信 「ワーカーズコープかがやき担い手」募集

ワーカーズコープかがやき(長野市、松本市)では、日常生活での困りごとを支援する仕事を担っていただける方を募集しています。〈生活支援事業〉・仕事内容-草取り、剪定、雪かきなど

時給:800円を基本として、15分刻みで精算。

(松本地域については、松本市内の方を募集)

※ご希望の方は就労条件等ありますので、下記担当者までお問い合わせ下さい。

中信(松本市) 0263-31-8200 (風間)

北信(長野市) 026-217-3601 (根本)

## 行方不明の組合員さんを探しています

引越しなどで行方の分からない組合員さんを捜しています。以下のお名前にお心当たりのある方は長野高齢協本部(026-263-2386)までご連絡ください。

北信

中信

- ・西澤 清治さん
- ・岡田いつよさん
- ・依田 忠雄さん
- ・両角多津子さん
- ・北島 高茂さん
- ・土屋 宣子さん
- ・丸山 文雄さん
- ・新城美代子さん
- ・木嶋 玉忍さん
- ・下村能富子さん
- ・松田 美幸さん
- ・南信
- ・傳田 修世さん
- ・河合 節子さん
- ・松沢 保さん
- ・有賀 亮さん
- ・北澤ゆう子さん

## 編集後記

新しい事業年度が始まりました。ニュース編集委員も新体制でスタートです。

ニュースは広報・交流と学習・主張をする機関紙の二つの役割があります。このことに目配りしつつ企画・編集を心がけますので、お気づきのことはどしどし意見をお寄せください。組合員参加のニュースを目指します。

いま、ますます生きにくくなる社会の予兆をひしひしと感じます。組合員や地域の人びとの声を通信員を通じて紙面に反映していきたいと思えます。通信員に参加してください。(依田)



## 認知症で行方不明

# 1年で1万人近くに

### 桜井記子さん

社会福祉法人ジェイエー長野会  
特別養護老人ホームローマンうえだ  
副施設長  
佐久総合病院等勤務後、2002年より  
特別養護老人ホームで職員の人材  
育成に携わり、認知症の人を支える  
地域活動に取り組む。  
看護師、介護支援専門員、認知症ケ  
ア上級専門士

この冬は100年に1度と言われる大雪に見舞われ、厳しい寒さが続きましたが、そんな中、在宅サービスをご利用されている認知症の方が、同時期に2人、自宅から行方不明になってしまいました。場所や時間の見当がつかない、判断ができないなど認知機能の障害が原因で、帰り道が分からなくなったと考えられます。さらに、車が埋まるほどの大雪で一面の銀世界でしたので、いつもの風景ではなくなって、手がかりを見失ったのかもしれない。懸命の搜索の結果、幸い無事発見することができました。おひとは独居の方、もうひとは老々介護で介護者自身、足が弱っていて一緒に外出する事は困難でした。

認知症により、行方不明となる人は（警察に届け出られた人）全国で、年間1万人近くにのぼり、内死亡したり、行方不明のままの方は550人を超えるそうです。そして、死亡した人の3割は独居だという事です。

近年、「外に出ると帰れなくなるのでしかたない。」と、独り家に残し、鍵を掛けて畑や職場に出かける単身の介護者や、「行方不明になったが、警察には届けず近所の人をお願いして搜索した。」などの話を伺うことが多くなりました。

認知症の人も「散歩に行こうとした」「実家に帰る」など、本人なりの理由や原因がありますが、適切な支えがなければ、行方不明や死亡事故につながる事態を招くことになります。

また、在宅介護では、認知症の初期、認知症に気付いていなかったり、または、認知症を隠そうとしたり、介護者が単身であったり、高齢で対応が出来ないなど、さまざまな課題を抱えています。

国は、「認知症になっても本人や家族が安心して住み慣れた地域で暮らすことができるように」と施策を掲げていますが、地域の支え合いの仕組みづくりはこれからです。

ですが、私たち一人ひとりもできることから始める、そのことが重要です。まず、認知症を自分ごととして捉え関心を持つ、正しく理解する。その上で、日頃から隣近所、なじみの人々が集い、認知症をオープンに語り合える場を持つ、困ったときは地域包括や専門家、介護経験のある人に相談する、介護サービスを利用する、そして、万一行方不明者が出た時迅速に行動できるよう、地域住民のネットワークをつくっていくなどの取り組みが急がれます。（特養ローマンうえだ副施設長 桜井記子）

### 長野高齢協組員数 (平成26年3月末現在)



- 全体 3274名
- 北信 2002名
- 東信 452名
- 中信 659名
- 南信 151名

### 本の紹介

## 里山資本主義

藻谷浩介・NHK広島取材班 共著  
角川書店



ほんとうの豊かさのために、地域での循環（生産も消費も雇用も）する経済活動は可能なのだと気づかされる。戦後日本が豊かさを求めてひた走ってきた大量生産、大量消費の上に豊かになれるのは一握りの人々だ。自分たちにできることはどんなことだろうか？どこに向かって努力すればよいのだろうか？・・・日本国内の、世界の、事例から閉塞した経済と疲弊しているかに見える地方に「アベノミクスに頼らない希望」を見出すことができる。

冒頭の部分、都会で猛烈社員として働いていた青年が、失意のまま田舎に帰り、以前の10分の1の賃金で完全無添加のジャムを作るジャム屋さんで働き始める。とんだ貧乏暮らしが始まると思いきやジャム屋に集まってくる人々の話を聞いて、目からウロコが落ちた。みんな、驚くほど豊かに暮らしているというのだ。また、里山の極意「手間返し」など豊かに暮らす人々が紹介されている。お勧めの一冊だ。（紹介者：鈴木友子）